



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2010.4.6 Vol. **124**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学



ACCREDITED
2007. 4 ~ 2014. 3

入学式 学長告辞	1
総長あいさつ	2
学習に取り組む前に	3~4
キャンパスライフへの指針	4
大学教育センターから	5
キャリア形成支援センター始動!	5
34号館竣工	5
社会連携研究推進事業	6
福山大学リレー講座	6
研究室紹介	7
海洋研究 公開シンポジウム	7
第6回公共広告CM学生	8
教員著書	8
就職への取り組み	9
合同企業説明会・企業懇談会	9
INFORMATION	10
行事予定	11



建学の精神

平成 22 年度入学式 学長告辞

皆さん、ようこそ福山大学へ。私達教職員と在学生は、皆さんの入学を心から歓迎し、皆さんが福山大学の一員となってくれたことを嬉しく思います。また、ご家族の皆さんには、新入生諸君を我が大学の教育に委ねて頂いたことを感謝し、これから卒業までの期間を教員一同全力を挙げて学生諸君の成長の支援をしていきたいと誓います。

福山大学は創立以来35年目を迎え、卒業生総数はおよそ3万人に達しています。本学は5学部14学科を擁する総合大学です。新入生の皆さんは、その各分野で特色ある教育を受け、卒業までに、社会に役立つ人材として育つことが期待されています。

さて、今から2500年ほど前、西のギリシャと東の中国でほぼ同じ時期に、優れた文化が開花しました。それは、ギリシャ古典文明時代の哲学者達や中国春秋戦国時代の諸子百家によってもたらされたものです。これらの文化は、残された文書などから判断する限り、物質文明というより精神文明に支えられたものでした。

ギリシャや中国の哲学者達が書き残した諸文献を読んでもと、そのたどり着いた精神文明の高さに驚かされるものです。現在我々が論じていることはほとんどみなその当時にも論じられていて、い

ささかも古さを感じさせません。

2500年も昔となると、私たちは野蛮な時代というイメージを描きやすいのですが、哲学者達の言葉をたどると、それがとんでもない間違いだということに気がつきます。「単に生きるのではなく、善く生きる」(ソクラテス)、「人間にとって教育が問題なのであって、身分の違いは問題ではない。」(論語)、「人は死を忌み嫌うが、死が憩いだということを知らない。」(老子)のような言葉が、すでに2500年も前に述べられていたということは驚くべきことです。私達が現在でも似たようなことを考えて行動していることを思うと、人間の思考も行動も長い時間経ってもさほど変わらないものだなあと感じます。

このような感想をあるアメリカの知人に話していたら、「要するに、理科系の学問は20世紀にかなり進歩したのだけれど、Humanity 分野では(経済学を除いて)革命的な進歩がなかった気がします。歴史学や政治学や教育学の研究者は沢山いるのに・・・。」という反応が返ってきて、なるほどなあと思ったものです。

最近の理系の学問の進歩に目を奪われて、文系の学問は進み方が遅いと感じられるかもしれませんが、5000年のスケールの中で考えると、すでにはるか昔に文系文化が進展していたことがわかります。

最近100年ほどの間の物質文化の進展によって、みるみるうちに物質の根源的な構造は解き明かされ、生命の神秘は解明されつつあり、それらの新しい知見が応用されて、少し前までは思いもよらなかったことが出来るようになりました。

この間、精神文明はどうなっていたのでしょうか。急激に進む物質文化の進展の中に埋もれて、精神文明は居場所を失い、その大切さが忘れられかけています。現代人は精神文明が物質文化を圧倒していた時代があったことを忘れていないのでしょうか。

福山大学では、創設者によって建学の精神が述べられており、その中では「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」が謳われています。

福山大学では、この建学の精神を高く掲げながら、福山大学独自の教育を推進しており、これを福山大学教育システムとよんでいます。新入生の皆さんが、この福山大学教育システムのもとで着実に知識を蓄え、心を磨き、社会に大きく貢献できる人材に育ってくれることを期待しています。

皆さんが、在学期間を、有効に過ごして、豊かで実り多いものにしてくれることを期待して、告辞と致します。

平成22年4月6日

福山大学 学長 牟田 泰三





「三蔵五訓」

平成 22 年度入学式 総長あいさつ

本日は、ご来賓並びに多数の保証人各位のご出席のもと、福山大学の入学式が挙行されますことを心からお慶び申し上げ、一言ご挨拶申し上げます。

新入生諸君、入学おめでとう。ようこそ、私たちの福山大学へ入学して来られました。私たち教職員と在学生は、挙げて諸君の入学を心から歓迎いたします。そして今日から始まる皆さんの学園生活が実り豊かであれと心から願っております。

福山大学は今年で創立35周年を迎えます。卒業生総数はおおよそ3万人、5学部14学科を擁する西日本有数の総合大学であります。そのきめ細かい少人数教育には定評があり、高い評価を受けております。スポーツ面では県代表となり全国大会にたびたび出場する種目もいくつかあり、中には大学選手権大会で優勝した種目もあり、非常に活発です。さらに本学の教授陣容は、業績豊かで著名な先生方が多く、大変充実しており、研究・教育の上でも有数の総合大学であります。学生諸君はまずこのことを十分に承知して、名実ともに兼ね備わった大学であることを認識し、自信と誇りをもって学んで下さい。

さて本学には創設以来、連綿と続いている建学の理念があります。「三蔵五訓」です。そこには本学創設者宮地茂先生の、大学創建への熱い想いが込められています。

「三蔵五訓」には、1. 物事に前向きに取り組み 2. 組織の目的・目標に向かってみんなと協力、協調しながら、積極的に取り組み 3.

多少の事では、へこたれない、強い忍耐力をもち 4. 道理をわきまえ、規範意識を強くもち 5. 自然を畏敬し、謙虚さを備えた、このような人間になってほしいという願いが込められています。

現状の日本は、少子高齢化に加え、戦後65年を迎え、かなり老朽化した閉塞感漂う社会になっております。また国際社会も、一昨年に発生したアメリカのサブプライム問題を機に金融不安が発生し、世界中が不況に突入しておりましたが、今は何とかその不況から脱出しようともがいている最中であり、米国、欧州といった先進国は未だ不況から脱却できていませんが、新興国は元気になってきております。つまり世界は、先進国の弱体化と新興国の台頭が鮮明となり又日本の存在も小さくならうとしています。

このような状況下においては、私は諸君に大いなる期待をしております。是非頑張って、夢と希望溢れる国を築いて頂きたい。是非この日本を立派な国に立て直して頂きたい。今はチャンスです。大いなるチャンスが溢れているのです。

そこで今諸君にとって大切なことは、この緑に包まれた静かな環境の中で、これからの社会及び人生をじっくり考え、いかに目的意識をもって、充実した学園生活を営むかということです。

諸君は一日も早く将来への希望、夢を見つけ目標を持って下さい。その為には、本学では、キャリア教育指導を充実させています。そしてその目標に向かって邁進してもらえば、勉学に、スポーツに、

サークル活動に積極的に取り組めば、洋々たる前途を切り拓く基盤が培われます。専門的な知識のみならず、基礎学力の必要性も認識でき、学習に意欲が湧いてくるはず^{じつが}です。近代的な超高層ビルも、確りした基礎からその積み立てということと同じ理屈であります。東洋哲学の教えに、学問は人間を変えるといいます。本当の学問というものは、血となって身体中を循環し、人体、人格をつくる。したがってそれを怠れば自ら面相・言葉も卑しくなる、とあります。

どんな事でも一生懸命夢中になって打ち込み努力したことは、決して無駄にはならないのです。スポーツに没頭し、必死になって努力した選手ほど一般社会でも立派に仕事をしているといわれています。この4年間という限られた時間を、学問にスポーツ活動、クラブ活動、小集団活動、社会貢献活動などを通じて、豊かな人間性を形成し、終生のよき友と師を得るなどして、人格的に一廻りも二廻りも大きくなっていただきたいと願います。

「教えるとは夢を与えることなり」という言葉があります。熱い^{まなざ}眼差し^{まなざし}の学生諸君に対して情熱を傾ける私たち教職員は、学生諸君が自信と誇りと夢と、これを裏付ける実力をもてるように、最大限の努力をいたします。学生諸君もぜひそれに応えて下さい。以上を持って挨拶とします。

平成22年4月6日
学校法人福山大学

総長 宮地 尚

学習に取り組む前に

大学生活ってどんな！？

経済学部

新入生の皆さん、受験勉強お疲れ様でした。今春から大学生となる皆さんに大学生活がどのようなものかを紹介したいと思います。

大学では高校までと異なり、自分で授業選択をすることができ、興味のある分野を選び勉強できます。だから早い時期から何を勉強したいのかをはっきりさせると良いと思います。

また、大学には様々なサークルがあり、学生自らで考え活動するケースが多いので、自主性があり、仲の良いサークルが多いと思います。入りたいサークルがなければ、自ら立ち上げることも

も可能なのでやりたいことをどんどんやってみてください。

最後に、三蔵祭について紹介します。三蔵祭は本学の学園祭で、毎年話題性の高いアーティストのライブなどもあるすごく楽しいイベントです。私のゼミでは模擬店を出店していますが、企画から販売までを学生主体で行っています。売上利益で打ち上げを開くので、みんな必死に頑張ります。仲間と一つのことをやり遂げる達成感は、感動的なので皆さんにもぜひ味わってもらいたいですね。

大学はいろいろチャレンジできる



フィールドです。早く興味のあることを見つけて、何でもいいですから行動してみてください。

国際経済学科 4年 下垣内 隆

興味ある分野を見つけて！

人間文化学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学したばかりの今、期待と不安が入り交じった気持ちではないでしょうか。そんな皆さんに少しでもアドバイスができたらいと思います。まず、大学での勉強は、自ら積極的に取り組んでください。また、さまざまな専門の授業をうける中で、自分の興味ひかれる分野を1つでも多くみつけて下さい。これは、その後のゼミでの研究の目的につながります。また、1、

2年次の学習は研究の基礎となります。私自身、3年生になり、ゼミで自分の研究を行うようになって初めて、これまでに学んだ基礎の重要性に気づかされ



ました。

最後に、私は今4年次になりましたが、卒業までは長いようであつという間に過ぎるだろうと思います。大学生活で努力したことは、きっと将来への自分のプラスになると思います。この4年の間、さまざまなことに取り組み、失敗をおそれずチャレンジし、悔いの残らないよう、有意義な大学生活を送ってください。

心理学科 4年 本田 智子

大学生活を楽しもう！！

工学部

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これからの4年間で、たくさん勉強して、たくさん遊んで、やりたいことをたくさん見つけることができたらいと思います。入学してすぐに行われた新入生合宿オリエンテーションで、先生や学科の仲間とすぐ仲良くなって、学生生活を楽しくスタートさせることができるとと思います。大学生活では、勉強はもちろんのこと、サークル活動やゼミ活動、三蔵祭、国際交流活動などは、大学生活を楽しむ上

で欠かせません。私は留学生ですが、積極的に三蔵祭やギョーザパーティ、新入生の歓迎会などの活動に参加し、それらを通じていろいろな仲間もできました。出会いは人を成長させると思います。人は一生の間でたくさんの人と出会います。その中でも学生時代の出会いは特別のものであると思います。その中で生まれた先輩や後輩との絆は、卒業後も、大きな財産となるはずです。大学生活は無限の可能性に満ちています。新入生の皆さんもこの可能性をど

んどん広げて、恵まれた環境の中、夢に向かって毎日をエンジョイしてくださいね！



情報工学科 3年 于 博 泓

価値ある大学生活を！

生命工学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は生物の遺伝子の働きに興味があって海洋生物工学科に入学し、



楽しく充実したキャンパスライフを！

遺伝子から環境まで幅広い分野の知識を学び興味の幅を広げることができました。また実際に自分の手で実験を行う学生実験もとても面白く、これから取り組む卒業研究も楽しみにしています。新入生の皆さんも、興味のあることを学びに大学に入学されたことだと思います。福山大学には多くの分野で活躍している先生がいっぱいいますので、積極的に交流して知識を高めていけば充実した学生生活を送ることができる

と思います。

また、私にとって大学生活を通して多くの友人ができたことは大きな財産です。授業だけでなく、クラブや大学祭、スポーツ大会などに参加すれば違う学年や他学部の人たちとも交流することができます。皆さんも積極的にいろいろな学生と交流して価値あるキャンパスライフを送って欲しいと思います。

海洋生物工学科 4年 松田 祥明

入学おめでとうございます。大学生活はサークル活動や班活動、ソフトボール大会、学祭など楽しいイベントがあります。高学年次には研究室に配属されて、研究をすることになります。この研究活動もそれまでに学んだことを活かして行うことになり、1年次からの基礎の講義の内容が重要になるため、わからないことがないように勉強を頑

張ってください。また研究室では研究だけでなく誕生日会などを行ったりして、イベントもあり楽しいことがたくさんあります。これから乗り越えなくてはならないことがたくさんあると思います。新入生の皆さんも充実した学生生活を送れるように頑張ってください。

薬学部 5年 久野 陽子



キャンパスライフへの指針

「福山大学教育プログラム」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これからの4年間、薬学部のみなさんは6年間、福山大学の学生としてひとりひとり充実したキャンパスライフを是非送っていただきたいと思います。そのためには、十分な体調維持と規律正しい生活習慣が不可欠です。まずはバランスのとれた食生活を心掛け、自身の健康管理を行ってください。そして充実した学生生活を送るために、しっかりとした勉強プランを立ててください。その第一歩が入学当初に行う授業時間割の作成です。高等学校とは異なり、自分自身でこれからの授業プランを決めるのが大学生としての最初の勉強への取組みになります。よく練られた授業時間割を作成して、授業、実験・実習などに取組んでください。そのためには、授業概要(シラバス)をよく読んで、各授業科目の講義内容を十分に把握して、教務関係の規則に従い、自分にとって一番良い時間割を

作成してください。

福山大学では、本学独自の特色ある全学的教育システムの「福山大学教育プログラム」を実施しています。現代社会では、変動を続ける社会の問題を自ら発見し、それを探求し、解決して社会に貢献できる人材や、そのために必要な新しい知識を自ら勉強し続ける人材が求められています。本学ではこのような時代の要請に対応した学士課程教育を構築し、現代社会に立ち向かうことのできる人材の育成に努めています。そのために、一般教育(共通教育)分野並びに専門教育分野における基礎的な知識を習得し、読み・書き・話す能力、数理的論理的思考力、情報活用能力、自己管理能力、リーダーシップ能力、倫理的・人道的判断力、等々の社会参加のための能力をもった人材の育成を目指しています。全学共通科目で1年を通して実施している教養ゼミは、学生と教員の面接・対話の機会を増やし、

少人数教育による教育の効果を学生諸君に反映させることを目的として行っています。この教養ゼミは本学建学の精神にのっとり、「福山大学教育プログラム」の基礎となる初年次教育科目のひとつの科目です。同じく初年次教育科目で全学共通科目の日本語表現、並びに情報リテラシーも「福山大学教育プログラム」の中心的科目として全学的に必修科目としています。

5学部14学科の総合大学である福山大学の私たち全教職員は、入学生のみなさんが優れた人材になることを目標として、学生の本分である勉強および課外活動に励むことに対して全面的にサポートする努力を惜しみません。そして、みなさんが十分な社会力並びに人間力を備えて大学を巣立ち、入っていく社会は、きっとみなさんをあたたかく迎えてくれることでしょう。

教務委員長 井ノ内 直良

大学生活のスタートに向けて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しく始まる大学生活に胸をときめかせて、福山大学の門をくぐられたことと思います。福山大学名物の桜の三蔵丘が、皆さんを暖かく出迎えてくれたことでしょう。入学式の折には、いろいろなサークルの先輩達が呼び込みを行って、大いに興味をひかれたのではないのでしょうか。これから、正式なサークルの紹介や入部の手続きが始まります。是非とも、進んで参加してください。きっと、充実した大学生活になることと思います。

では、学生生活について、いくつかアドバイスをしていきましょう。皆さんは、入学式当日に、福山大学の学生証をもらって、正式に大学生活を始めることになりました。この学生証は、あなたの方の身分を証明するものなので、常に携帯するようにしてください。大学の中では、いろいろな証明書をもらう時や学期末試験の受験の際には、絶対に必要とな

ります。皆さんの大学生活のサポートを直接的にしてくれるのは、担任の先生や学生課の職員の方々です。大学生活で、困った時や相談したいことがある場合には、遠慮せずに早めにコンタクトを取ってください。学生課で扱っている業務について、いくつか大事なものを以下に紹介します。

1. 定期券購入の証明書や学割証
2. 奨学金の申請・登録
3. 単車や自動車の通学許可証
4. サークル活動のサポート
5. スクールバスの運行計画
6. 大学祭運営のサポート
7. アルバイトの紹介
8. 傷害保険の手続き
9. 健康診断の実施や健康診断書(保健管理センターの管轄)
10. カウンセリングのサポート(保健管理センターの管轄)

上記のような大学生活に関係すること全般について、学生課の職員の方々



サークルの紹介

は懇切丁寧に対応してくれますので、安心して相談してください。また、学生便覧には、各種の規則や学内の地図などが載っていますので、是非とも目を通しておいってください。

4月8日からは、早速、各学部学科に分かれて、新入生合宿オリエンテーションが始まります。これを通して、これからの大学生活の支えとなる友人達や先生方との交流を深めてください。また、オリエンテーションの際には、クラス委員や三蔵祭運営委員の選出も行われますので、積極的に応募して、実りのある大学生活を送ってください。すばらしい大学生活のスタートが切れますように心から祈っています。

学生委員長 久富 泰資

福山大学では平成21年4月に正式に「大学教育センター」が発足しました。これは全人教育という、福山大学が創設以来掲げる高い理念、すなわち、専門教育に欠かせない、時代のニーズに合った知識・技術を習得するだけでなく、本学教育全体の基盤となる共通教育システムを構築するための組織です。また、時として実用に傾斜しがちな時代の風潮の中で忘れられかけている調和のとれた豊かな人間性と教養力を育成するという理念を実現するための教育システムの一環として誕生したものです。

その理念の追求に向けて、初年次教

育科目としての「教養ゼミ」、共通基礎科目としての「日本語表現」、「情報リテラシー」、「第1外国語、第2外国語」、および、教養教育科目としてのA群～E群という学問分野に区分された多数の科目が提供されています。その中に、学生の皆さんのさまざまなモチベーションに応えるために、「誘い科目群」と「展開科目群」という科目グループを用意しました。

本大学の教育センターでは、こうした科目を教育システム全体の中で、最もすぐれた形で提供するために、教務委員会と連携して絶えず見直しを行っています。本年度から英語教育の刷新・

充実を図るために、「英語能力判定テスト」を導入して、習熟度別クラス編成を実施します。これは学生の英語力のそれぞれのレベルに合ったクラスを編成することで、より高い効果を生み出す効率的な教育を保証しようとするものです。このほかに選択科目として、基礎力の不足を補うための「中級英語Ⅰ」、「中級英語Ⅱ」、さらに実力を伸ばすための「上級英語」、国際化する社会で活躍するための実践的な英語力を磨く「TOEICⅠ」、「TOEICⅡ」を新たに開講することで、英語の実力アップを目指す学生の皆さんの真剣な欲求に応えます。

キャリア形成支援センター始動！

文部科学省が支援するプログラムを展開中

☆平成21年には、文部科学省が行う学生支援推進事業(平成21年度から3ヶ

年予定の事業)に対し、「教員を核とする人的ネットワークに基づく就活力の養成プログラム」というテーマで応募し採択されました。これを受けて現在、就職支援ネットワークのさらなる整備

キャリア形成支援センター

と、独自テキストの作成など系統的キャリア教育のレベルアップに向け、着々と体制作りが進行しています。これらの取組によって個々の学生への指導の充実と支援の深化が図られています。

全教職員による早期からの支援は個人面談を重視

☆本学では学生一人ひとりが、共通教育ならびに専門教育において習得していく知見と、4年間にわたるキャリア教育によって体得していく社会人基礎力とを融合させながら、自己の進路を主体的に切り開いていくための支援を全学的に行っています。

☆各学部・学科の就職委員によって構成される就職委員会が全体の基本方針と計画を立て、それに基づいて、就職委員とゼミ・研究室の担当教員及び就職課職員が日常的に連携を図りながら、就職活動の支援を行っています。特に個々の学生の進路希望や適性を考慮して、個人面談を中心としたきめ細かな取り組みを展開しています。

☆1年次では必修科目として「キャリアデザインⅠ」の講座を設け、一人ひとりの学生が目標をもって大学生活を送れるよう支援するとともに、職業観・勤労観の育成を図っています。

☆2年次では各学科が独自に行うキャリア教育等により、自己と社会に対する理解を深めながら、自己の専門を生かした「ありたい姿」の模索を通して、考え抜く力、前に踏み出す力、チームで働く力などの社会的基礎力の養成を図っています。

☆3年次では就職課が主催する支援ガイダンスが年8回実施されています。その主なものは、①職業選択講座、②一般常識テスト、③テスト結果を踏まえたフォローアップ講座、④新聞の読み方講座、文章表現講座、⑤就職体験発表会等であり、系統的な取組みを通してキャ

リア形成を図っています。また、11月頃には全学部で保証人との就職懇談会を実施し、ゼミの先生方の指導を中心に、保証人を交えたアドバイスを行っています。さらに、2月から3月にかけて、本学主催の合同企業説明会が3回にわたって実施され、地元の有力企業を中心に約200社の人事担当者が出席し、学生に対して各社が求める人材像や業務内容が説明され、学生も多様な質問を通して志望業種や受験企業を絞り込んでいきます。

☆4年次にかけては、ビジネスマナー対策や個々の企業に対応させた入社試験対策等、個別的な指導を行って、実社会で役立つ実践力を育成するとともに、一人ひとりの悩みや疑問に応えながら自分を生かせる企業に位置づくよう支援を行っています。

医療薬学教育センター（34号館）竣工

平成22年2月末に医療薬学教育センター（34号館：5階建て延べ床面積は7973m²）が竣工しました。本施設は、モデル薬局、クリーンルーム、コンピュータ室など6年制薬学教育に必要な最先端の設備を備えています。また、1階には福山大学附属図書館分館が入り、2階と3階には講義室やグループ討論の施設も設置されています。

福山大学薬学部は臨床薬剤師の育成を掲げ、常に先進的な医療薬学教育を実践してきました。この医療薬学教育センターは、さらに高度で実践的な



医療薬学教育センターの竣工式
本学薬学部の教育の中心的な役割を担っていきます。

薬学部 田村 豊



完成した医療薬学教育センター(34号館)の全景

「健全なところとからだに支えられたまちづくりプロジェクト」進捗状況

(文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」に平成19年度より採択)

社会連携研究推進センター

本プロジェクトは、『「人間力」』に支えられた『活力ある地域づくり』連携に関する開発研究」という事業名の下で行われている「健全なところとからだに支えられたまちづくりプロジェクト」である。「活力ある地域づくり、まちづくり」に向けての地域のニーズに、(1)本学の人的物的資源がどのように応えるかを考え、(2)事業の構想調書から大きくはずれることなく、かつ(3)脈絡なく事業が広がることのないように、右図のように7つのサブプロジェクトを連携づけている。そして、これにそってプロジェクト全体が有機的に進むように、当初より社会連携研究推進事業運営委員会を設置し、委員長である研究代表者はサブプロジェクトの各責任者(委員会委員)と、また各責任者は相互間で、研究内容、研究成果、諸行事、予算請求等に関連して、緊密に連絡・協議をしている。その結果、各サブプロジェクト間では、具体的に次のよう連携がされている。

- ・ 緊密な情報交換と情報の共有
- ・ 講師の派遣や学習・研修講座等の共同開催 (PJ1とPJ2, PJ3からPJ2, PJ1・2・3)

3からPJ8など)

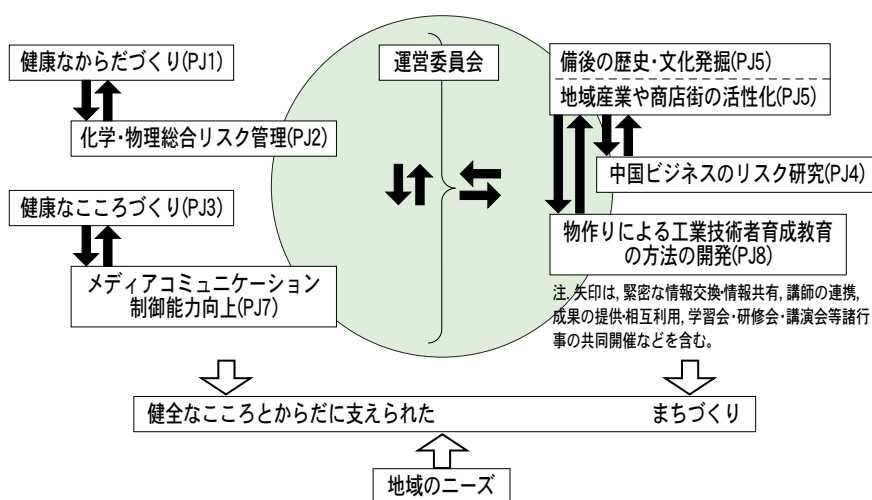
- ・ 研究成果の提供・相互利用 (PJ1とPJ2, PJ3からPJ2, PJ1・2・3からPJ8, PJ7からPJ5など)
- ・ 全サブプロジェクトを含むプロジェクトとしての外部行事への参加(社会連携研究推進センター開設記念式典、産業交流展in福山2009)

また、過去3年間の研究で各サブプロジェクトとも成果の蓄積が厚くなったので、平成22年度には、サブプロジェクト間の成果を関係づけながら、地域に成果を還元するためのプロジェクト全体としての連続講座を、社会連携研究推進センターで実施すべく計画している。

ご期待ください。

社会連携推進事業運営委員長
松田 文子

「健全なところとからだに支えられたまちづくりプロジェクト」のサブプロジェクト連携図



「—これからの時代を生きるために—福山大学!リレー講座」開講!

福山大学は、備後に根ざした総合大学として、地域に役立つ国際性をもった人材の育成を図るとともに、研究成果を地域へ還元することをコンセプト

としています。

平成21年度には、その一環として「福山大学リレー講座」を開催し、「鳩山政権3ヶ月の評価」と題して新政権の足跡を検証した田中秀征本学客員教授をはじめ、福山大学の教員がそれぞれの専

門分野から「時代」をとらえ、その本質に迫る講座を10回開講しました。本年度も、地域社会の振興に貢献することを目的として、定期的に関連講座を開催する予定です。

受講者募集中

学校法人福山大学主催 参加費無料

—これからの時代を生きるために—

福山大学発! リレー講座

始める!

これから時代を生きるために、福山大学からの提言をします。ふるってご参加下さい。

第1回 講師 田中秀征 福山大学 客員教授

テーマ 「最近の政治」

日時 2009年6月25日 (木) 18:30-20:00

会場 福山大学社会連携研究推進センター

定員・対象 200名、一般の及ぶ学生対象 (参加費無料)

第2回 講師 大久保 勲 福山大学 前経済学部長 客員教授(名誉教授)

テーマ 「中国経済から日本経済を読む」

日時 2009年7月24日 (金)

第3回 講師 松田文子 福山大学 副学長 心理学教授

テーマ 「最近の心の問題」

日時 2009年8月21日 (金)

お申し込み・お問い合せ

福山大学社会連携研究推進センター事務局 TEL: 084-932-4300 FAX: 084-932-4354

e-mail: golo@fucc.fukuyama-u.ac.jp

〒720-0064 (広島県福山市上之町) 電話 40号

福山大学発! リレー講座実施状況一覧

【平成21年度】
会場: 福山大学社会連携研究推進センター 9階
時間: 18:30~20:00 (開場 18:00)

回	実施日	講師	テーマ
第1回	6月25日(木)	田中 秀征	「最近の政治」
第2回	7月24日(金)	大久保 勲	「中国経済から日本経済を読む」
第3回	8月21日(金)	松田 文子	「最近のころの問題」
第4回	9月25日(金)	福長 将仁	「インフルエンザの恐怖 続々出る新型」
第5回	10月22日(木)	大川 秀郎	「環境と食の安全とは何か」
第6回	11月 9日(月)	藤森 益弘	「言葉・映像・音楽」現代におけるコミュニケーションの可能性について
第7回	12月10日(木)	田中 秀征	「鳩山政権3ヶ月の評価」
第8回	1月28日(木)	妹尾 正毅	「変わる世界と日本の選択」
第9回	2月26日(金)	南 宏一	「迫り来る地震に備える」
第10回	3月17日(水)	伏見 浩	「お魚工場へのチャレンジ」

スポーツと商業主義

つい先日閉幕したバンクーバー冬季オリンピックにおいて、日本はメダル獲得数5個(銀メダル3個、銅メダル2個)という結果に終わった。一方、韓国などの大躍進と比較し、日本の選手育成方針に疑問の声が上がっている。

オリンピックの商業化は1984年のロサンゼルスオリンピックにはじまった。大会実施委員長でビジネスマンでもあったピーター・ユベロスはそのビジネス手腕により、多額の利益をあげたことは記憶に新しい。以降、オリンピックは最大のスポーツイベントであるのみならず、ビジネスイベントにもなっている。

昨年10月に行われた国際オリンピック委員会の総会で、2016年の開催地と競技種目が決定された。競技種目に関しては現在の26競技から28種目に増やすという形で、追加種目候補であった7競技(野球、ソフトボール、ゴルフ、7人制ラグビー、空手、スカッシュ、ローラースポーツ)のなかから、ゴルフと7人制ラグビーが正式種目となった。

2008年の北京オリンピックまで正式

種目であった野球とソフトボールは復帰を目指したが、2016年の正式種目復帰はかなわなかった。野球やソフトボールの盛んでない国での開催の場合、多額の資金を投じて球場を整備しても大会終了後使い道がない、というのが本音である。メジャースポーツである野球の場合はWBCがオリンピックにかわる国際大会と位置づけられ、オリンピックのもつ意味はソフトボールに比べれば大きくはない。ソフトボールはまさにオリンピック商業主義の犠牲となったといっても過言ではない。

私は2012年のロンドン大会での種目除外が決定した2005年から、国際ソフトボール連盟の“Back Softball”キャンペーンに注目してきた。活動の中心人物であったミッシェル・スミス氏(アトランタ、シドニー金メダリスト)をはじめ多くのオリンピックに何度も直接意見を聞く機会を得た。同氏は早くから政治的・商業的な意思決定がオリンピックを目指す子ども達の夢を奪うことを懸念していたが、まさにその危惧が現実のものとなってしまったことは残



アメリカのソフトボールキャンプにて

念である。

ソフトボールのようなマイナースポーツではオリンピック種目から除外されることにより、北京で金メダルを獲得したにもかかわらず、競技人口の減少や強化費の大幅減少が予想される。また、国内最高峰の日本リーグに関しても不況による廃部など競技環境は悪化している。今後は競技活性化のためジュニアの育成や地域密着型チーム運営などのテーマについて調査を続けるつもりである。

国際経済学科 准教授 足立 浩一

瀬戸内海の生物多様性保全および利用に関する研究公開シンポジウム —生態系の保全と持続的な生物生産を目指して—

昨年12月5日、社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)において、戦略的研究基盤形成支援事業「瀬戸内海の生物多様性保全及び利用に関する実験生理・生態学的研究」の一環として、公開シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムでは、海洋生物科学科で取り組んでいる瀬戸内海の生物多様性の保全や水産資源の適正利用な

どに関する5つの研究プロジェクトにおけるこれまでの研究成果が発表されました。さらに、国立大学、(独)水産総合研究センター、電力中央研究所から6名のゲスト・スピーカーを招待し、地球温暖化研究の背景と最新の研究報告、ならびに各研究者の専門分野における研究発表が行われました。また、総合討論では活発な質疑応答が繰り広げられ、

さらに踏み込んだ内容の討議が会場の雰囲気盛り上げました。

このシンポジウムには海洋生物科学科の在学生も多数参加し、幅広い分野における知見と将来の研究課題などを多岐にわたって学ぶ機会となりました。参加した学生のアンケート調査では、「シンポジウムで学んだことを、自分の卒業論文に活かしたい」、「瀬戸内海で起きている環境の変化と、そこに生息している生物への影響を知ることができた」など、有意義な機会を得た旨の声が数多く寄せられました。今回のシンポジウムの成果は、将来へ向けた我々の研究指針となるばかりでなく、学生にとってもたいへん貴重な勉学の間となりました。

海洋生物科学科 講師 阪本 憲司



研究発表を熱心に聴く参加者

第6回公共広告機構CM学生賞コンテスト 奨励賞受賞

メディア情報文化学科

(社)ACジャパンが主催する「第6回公共広告CM学生賞」で、メディア情報文化学科3年の藤井誠哉君、佐藤修介君、大村宗央君、譚新珂君、馮旭さんの5名が制作したCM「こんなこと、していませんか?」が奨励賞を受賞しました。30秒の公共マナーCMで、飲酒運転防止がテーマです。

3月26日に東京の電通汐留ホールで受賞式が行われ、賞状が贈呈されました。全国から25校、151作品の応募があり、応募作品は全国7事務局による1次選考で、73作品に絞り込まれ、3月12日

の最終選考会で厳選に審査され、グランプリ、BS民放賞、部門賞(4作品)優秀賞(11作品)、奨励賞(13作品)が決定しました。

出席した佐藤君は「大学に入ってから、色々な映像制作を行って、初めての体験でしたので、非常に嬉しく思います。3年生映像制作の授業で制作した作品です。ご指導頂いた藤森、三宅両先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。これからも、ゼミや学科の仲間達と共に映像制作に力を注いでいきます。来年はぜひグランプリをとりたい」と、

力強いコメントがありました。

この公共広告CM学生賞は「日本の未来を担う若い世代が、広告制作を通じて公共広告への理解を深め、社会に主体的にかかわる「公」への意識を高くむくことを目的」として社会に発信する人材育成を目指しています。

三蔵祭の期間中に受賞作品を初め学生の作品上映を予定しています。どうぞご期待下さい。

メディア情報文化学科

教授 三宅 正太郎



「第6回ACCM学生賞授賞式」の表彰式にて
(東京、電通汐留ホール)



CM作品「こんなこと、していませんか?」

教 員 著 書

- ◎田中 久男監修 亀井 俊介・平石 貴樹編著
『アメリカ文学研究のニュー・フロンティア』
平成21年10月 南雲堂
(アメリカ文学・人間文化学部)
- ◎青野 篤子著(柏木 恵子編著)
『よくわかる家族心理学』
平成22年2月 ミネルヴァ書房
(ジェンダー心理学・人間文化学部)
- ◎石崎 由美子ら著
『食物と栄養科学シリーズ7 応用栄養学』
平成21年4月 朝倉書店
『つくって食べて美しく!健康メニュー』
平成22年3月 健康メニュー開発研究会
(栄養教育・生命工学部)
- ◎Yasumi Kimura(木村 安美)ら著
(Gabriella Calviello Simona Serini編)
『Diet and Cancer1 Dietary Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acids and Cancer』
平成22年3月 Springer
(栄養疫学・生命工学部)
- ◎谷口 順彦・池田 実著
『アユ学—アユの遺伝的多様性の利用と保全』
平成21年10月 築地書館株式会社
(魚類学・生命工学部)
- ◎渡辺 伸一ら著(日本バイオリギング研究会編著)
『動物たちの不思議に迫るバイオリギング』
平成21年9月 京都通信社
(動物生態学・生命工学部)
- ◎日比野 惺・石津 隆町支 臣成ら著(薬学研究会編)
『CBT対策と演習 医薬品化学』
平成21年10月 廣川書店
(医薬化学・薬学部)

- ◎西尾 廣昭ら著
(伊藤正男・井村裕夫・高久史磨編)
『医学大辞典 第2版』
平成21年2月 医学書院
- ◎西尾 廣昭ら著(金子周司編)
『ベーシック薬学教科書シリーズ 16 薬理学』
平成21年 化学同人
(薬理学・薬学部)
- ◎古野 浩二・杉原 成美共著
『メタボリックシンドロームの基礎知識』
平成22年3月 ふくろう出版
(公衆衛生・薬学部)
- ◎大瀧 修共著(松末智ら編)
『ケースで学ぶ栄養管理の思考プロセス』
①消化管・消化器疾患
平成21年6月 文光堂
- ◎大瀧 修共著(東高志編)
『実践 臨床栄養』
平成22年1月 医学書院
- ◎大瀧 修共著(山口徹ら総編集)
『今日の治療指針2010』
平成22年1月 医学書院
(臨床医学・薬学部)
- ◎金尾 義治著
『進歩する薬物治療 DDS最前線 第2版』
平成22年2月 廣川書店
- ◎金尾 義治著 分担執筆(川上巨作監修)
『難水溶性薬物の物性評価と製剤設計の新展開』
平成22年1月 シーエムシー出版
- ◎金尾 義治著 分担執筆(辻彰編)
『2010年版薬剤師のための常用医薬品情報集』
平成22年3月 廣川書店
(薬剤学 薬物動態学・薬学部)
- ◎古富 博則・田村 豊・菅 奈美共著
『薬学生・薬剤師育成のための模擬患者(SP)研修の方法と実践』
平成21年5月 じほう
(医療薬学・薬学部)

- ◎鶴田 泰人ら編著・井上 裕文・小嶋 英二郎・伊達 有子ら著
『薬学分析科学の最前線』
平成21年4月 じほう
- ◎鶴田 泰人ら編著・井上 裕文・小嶋 英二郎著
『薬学領域の分析化学』
平成21年4月 廣川書店
- ◎鶴田 泰人ら編著・井上 裕文・小嶋 英二郎著
『演習で理解する薬学の分析化学』
平成22年3月 廣川書店
(臨床分析化学 薬学分析化学・薬学部)
- ◎宇野 勝次(横田千津子ら監修)
(山田勝士ら編集)
『薬局増刊号 病気と薬パーフェクトBook 2009』
平成21年3月 南山堂
(医療薬学・薬学部)
- ◎森田 哲生著
『生命活動と生化学への展開』
平成21年8月 京都廣川書店
(生化学・薬学部)
- ◎石津 隆著(神村英利ら著)
(木方正ら編)
『わかりやすい薬事関係法規・制度』
平成21年11月25日 廣川書店
(法制度・薬学部)
- ◎片山 博和ら著
『シナリオ症例解析—医療の現場で今...』
平成21年9月 京都廣川書店
(薬剤設計学・薬学部)



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学という新たな世界に入り、胸おどらせておられることでしょう。また、在学生の諸君も、新学期を迎え、決意を新たにされていることと思います。

一昨年以降始まった世界同時不況とともに日本経済が急速に悪化し、大学生を取り巻く就職環境は非常に厳しいものとなりました。昨年の就職状況は超氷河期とも呼ばれ、就職内定率も残念ながら90%に到達できませんでした。景気の動向は若干上向きつつあるものの、今年の就職環境も厳しいものとなることが予想されています。

4年次生の皆さんは、これからこのような厳しい就職環境を戦い抜いていかなければなりません。企業の求人活動は早期化と長期化の傾向が一層強まり、募集方法もインターネットな

どを利用した自由応募制が広まっています。これは、企業がこれまで以上に積極的に意欲を持った人材を求めていることに他なりません。この長期にわたる厳しい選択の場を勝ち抜くには、なによりも就職に対する強い意欲とともに、積極的に情報を集め、いち早く行動を開始する自主性が必要です。そのためには、まず自分の将来像を描き、目標を明確に定めることが重要です。また、1回や2回の失敗でくじけず、繰り返し、繰り返し最後まで挑戦する強い意志が必要です。迷った時は、就職担当やゼミ担当の先生、就職課の職員の人たちに相談して下さい。多くの人たちがみなさんの就職活動を応援していることを忘れないでほしいと思います。

3年次生以下の皆さんも、将来の就職に対する強い意識を持って下さい。

大学での最終目標は、就職し仕事を通して社会に貢献することにあります。今、皆さんは毎日の勉学において、社会人となるための力を蓄えているところです。とくに、①前に踏み出す力(action, 主体性)、②考え抜く力(thinking, 問題発見力)、③チームで働く力(team work, コミュニケーション能力)は社会で活動するための基礎力として重要なものです。これらの能力は一朝一夕に身に付くものではありません。日頃から意識して、これらの能力を高める努力が必要です。

福山大学では、学生の皆さんの就職支援を行うために、今年度よりキャリア形成支援センターが設立され、新たなキャリア教育プログラムが始まりました。このセンターでは、キャリア教育を通じて、学生諸君の社会人としての基礎力を養成するとともに、インターンシップや合同企業説明会などさまざまな取り組みによって、皆さんの就職活動を支援します。普段の講義はもちろんですが、キャリア形成支援センターで提供するキャリア教育プログラムやさまざまな催しに積極的に取り組み、将来のための力をしっかりと蓄えていただきたいと思います。

キャリア形成支援センター長
西原 晃

「合同企業説明会」・「企業懇談会」開催される

就職課

就職活動の本番を迎えて（合同企業説明会）

平成23年3月卒業見込者を対象とする福山大学「合同企業説明会」を開催しました。第1回を2月17日に福山ニューキャッスルホテルで、第2回を2月19日に、第3回を3月5日に、それぞれ福山大学社会連携研究推進センターで開催しました。参加企業は関西以西の広範囲にわたり、

合計177社にのぼり、学生の参加も、延べ人数で594名でした。個別企業の説明会が始まっている時期でもあり、日程の都合がつかなかった学生も多勢いたと思われます。各企業とも厳しい経済状況を反映し、「少人数・厳選採用」の傾向が強く、社会人としての基礎的な力

と前向きな意欲とTPOを踏まえた対話力のある人材を求めています。学生も業界や企業についての研究を深め、志望目的を明確にして会社訪問等に取り組んでください。大学では「単独会社説明会」を適宜開催し、学生の就職活動を支援していきます。

厳しさ続く就職戦線（企業懇談会） 平成22年3月2日（火） 場所

福山ニューキャッスルホテル

この懇談会は本学の創設当初から実施されており、地元企業を始め福山大学、福山平成大学の学生の採用実績がある優良企業を招いて開催しているものです。今年は昨年度を凌ぐ170社、201名の方々にご出席いただき、両大学からは理事長、学長、教職員合わせて97名が出席して盛大に開催されました。西原晃就職委員長の開会の言葉で始まり、宮地尚理

理事長・総長と牟田泰三学長が挨拶を行った後、天野肇福山商工会議所副会頭の音頭で乾杯が行われ、懇談に入りました。一昨年の秋から始まった急激な経済状況と雇用環境の悪化を反映し、企業の代表者と各学科教員との間で本年の採用実績や来年の見通しなどについて、突っ込んだ情報交換が行われ、相互の信頼関係を深めることができました。

年度末のご多用の中をわざわざ出席していただきました企業の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。



世界を体験しよう

国際センター

ご入学おめでとうございます。現代はグローバル化の時代と言われるように、これから皆さんが大学で学んで行く上でも、また、卒業後に社会で活躍するためにも、世界に目を開くことは大切です。国際センターは福山大学の国際交流や留学生の支援を行っています。英語やアメリカに関心のある人はカリフォルニア大学リバーサイド校、また、中国語や急発展する中国に関心のある人は北京の対外経済貿易大

学での夏季短期語学研修に参加できます。いずれも本学の教員が同行するので海外経験のない人でも安心です。大学や日本学生支援機構からの奨学金の利用が可能であり、学部規定により単位修得も認められるので、是非積極的に参加していただきたいと思います。また、国際センターには多くの留学生が頻繁に出入りしており、歓談スペースもあるので、中国人留学生と交流を図ることが出来、居ながらにしてミニ

留学が体験できます。

国際センター長 富士 彰夫



夏季中国語学研修(天安門広場にて)

受験参考書から全集へ

附属図書館

私は、最近、2冊の本を購入した。山崎貞『新々英文解釈研究』、『新自修英文典』(研究社、2008年12月)である。書物の帯に「伝説の参考書『山貞』、ついに復刊」とある。受験参考書である。

大学では、専門科目以外に、一般教育科目があり、福山大学では、一般教育科目にも重点を置きつつある。一般教育科目といえば、古典が問題になる。古典の解説は、新書によって学ぶことが多い。西洋の古典、東洋の古典、日本の古典

といえば、文庫の中でも岩波文庫が有名である。例えば、ギリシャの哲学者プラトンの著作では、11篇は、文庫で手に入れ、読むことができる(2009年4月現在)。

プラトンに関しては、『プラトン全集』全15巻が岩波書店から翻訳出版され、全著作を読むこと



が可能である。文庫にはないプラトンの代表作のひとつ『法律』の続編『エピノミス(法律後編)』も読むことができる。

私が受験参考書を再購入したのは、新書、文庫、全集でプラトンを理解したその目で、再読してみようと思ったからである。教室では新書、自宅へ帰って文庫、不十分な場合は、図書館を利用して、真の教養を身につけてほしい。

附属図書館長 片岡 俊郎

気になることを相談してみませんか

保健管理センター

【健康管理について】

健康管理については、看護師が対応しています。体調や病気、症状に関することや学生生活で困っていること、愚痴など何でもまずは聞いてみて下さい。

1. 疾病・外傷等の応急処置

昨年度は、延べ860名でした。必要に応じて医療機関へ受診してもらっています。体調管理についての生活指導も行っていますので、何でも相談して下さい。

2. 定期健康診断：年1回受診

昨年度は、学生84.1%・教職員88.5%の受診率でした。受診結果は個人宛に通知しています。必ず受診して健康状況について知って下さい。

3. 新型インフルエンザ流行

昨年度は1年間新型インフルエンザの対応に追われました。7月から発症者があり、以後徐々に増加していき337名の発症報告がありました。個人が自分の体調に敏感になったこともあり、予防行動の周知をする機会にな

りました。

【カウンセリング相談の紹介】

当センターには、学生からの相談を受ける心理カウンセラーが常駐しています。相談内容は、心の不調に関するものだけではなく、学生生活に関わる悩み全般を含みます。昨年度は、学生50人に1人程度がカウンセリングを利用しています。また、ご家族や他機関と連携しての学生サポートも行っています。

保健管理センター長 渡邊 誠

パソコンやインターネットを使いこなそう

情報処理教育センター

情報処理教育センターは、大学教育センターの中で情報教育を統括するセンターです。情報の基礎教育に関することや情報機器のインフラを整備するための役割を担っています。現代社会はユビキタス社会とも呼ばれ、パソコンやインターネットの活用が日常生活の中まで入り込んでいます。大学



での教育に目を向けますと、情報リテラシー教育はもちろんのこと、各学部・学科における専門教育においても、これらを利用して教育効果を上げていきます。学内には多くのパソコンが設置されており、高速通信回線を通して、インターネットを利用することができます。情報モラルを守って、コンピュータやインターネットを使いこなして下さい。

情報処理教育センターのパソコン室は、1号館と23号館にあります。パ

ソコンはインターネットに接続されており、情報コンセントなども利用できます。MS Word, Excel はもちろんのこと、ホームページビルダーやPaint Shop Proなどの豊富なソフトが利用できます。授業以外の時間帯でも、これらの設備を自由に使ってもらえます。特に、土曜日と5時限目は、ほとんど授業で使われていませので、これらの空き時間に自由に利用して下さい。

情報処理教育センター長 三谷 康夫

平成22年度 主要行事日程予定表

4月1日(木)	前期(4/1～9/15)
4月5日(月)～9日(金)	学内オリエンテーション(在学生) 各種説明会
4月6日(火)	入学式
4月7日(水)	学内オリエンテーション(新入生)
4月8日(木)～9日(金)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月8日(木)～15日(木)	春期健康診断(学生)
4月10日(土)	前期授業開始
4月12日(月)～13日(火)	履修届提出(全学年)
5月15日(土)	開学記念日
5月下旬	教職員健康診断(特別健康診断を含む)
7月21日(水)	前期授業終了
7月22日(木)～31日(土)	全学期定期試験
8月1日(日)	夏季休業開始
8月21日(土)～9月5日(日)	教育懇談会
9月15日(水)	夏季休業終了
9月16日(木)	後期授業開始 後期(9/16～3/31)
9月中旬～10月中旬	大学院入試(経済学, 人間科学, 工学, 薬学)
9月中旬～10月下旬	公開講座
10月22日(金)～25日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会
11月6日(土)～11月7日(日)	平成23年度推薦入学試験(A日程)
11月上旬	秋季健康診断(学生)
11月中旬	教職員健康診断(特別健康診断を含む)

11月下旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (工学部・生命工学部)
12月11日(土)	平成23年度推薦入学試験(B日程)
12月20日(月)	授業終了
12月21日(火)	冬季休業開始
12月28日(火)	仕事納め
12月29日(水)～1月4日(火)	年末・年始休業
1月5日(水)	仕事始め
1月10日(月)	冬季休業終了
1月11日(火)	授業開始
1月15日(土)～1月16日(日)	大学入試センター試験
1月29日(土)	後期授業終了
1月31日(月)～2月3日(木)	平成23年度前期入学試験(A日程)
2月4日(金)～15日(火)	後期定期試験
2月16日(水)～28日(月)	学部・学科別行事
2月18日(金)	平成23年度前期入学試験(B日程)
3月1日(火)	春季休業開始
3月12日(土)	平成23年度後期入学試験
3月上旬	企業懇談会
3月20日(日)	学位記授与式(卒業式)

【備考】

本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月間予定表に記載されます。

4月の行事

4月5日(月)	オリエンテーション・各種説明会【2～5年次生】
4月6日(火)	入学式
4月7日(水)	各種説明会【2～5年次生】
4月8日(木)	新入生合宿オリエンテーション 各種説明会【2～5年次生】 春期健康診断【男子:2・4年次生, 院:M2・D1・D3:大学会館】
4月9日(金)	新入生合宿オリエンテーション 各種説明会【2～5年次生】 春期健康診断【午前男子/午後女子:2・4年次生, 院:M2・D1・D3:大学会館】

4月10日(土)	授業開始
4月12日(月)	春期健康診断【女子:1・2・4年次生・院:M2・D1・D3:大学会館】
4月13日(火)	春期健康診断【男子:1・2・4年次生・院:M2・D1・D3:大学会館】
4月14日(水)	春期健康診断【午前女子/午後男子:1・2・4年次生・院:M2・D1・D3:大学会館】
4月15日(木)	春期健康診断【男子:1・2・4年次生・院:M2・D1・D3:大学会館】

※但し、春期健康診断については薬学部、薬学研究科は全員(3年次生, M1・D2生は秋期11月に受診)

編集後記

本学は「福山大学教育プログラム」に基づいて、着実に教育改革を進めています。124号は、大学教育センターの取り組み、学生のキャリア教育を総合的に行う「キャリア形成支援センター」の発足などを取り上げました。2010年度も、意欲的な取り組みで始動です。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>